

号外！ 次は8月。この二人で二席ずつ。

さらに地元出身の、あの若手も！

第35回 佐世保かっちえて落語会 桃月庵白酒・三遊亭兼好

もしもあなたが、落語に詳しくて噺家の良し悪しがわかる方ならば、「白酒・兼好」の名前をみただけで、ここから先は読まなくても、スキップしながら受付に行って、イソイソと予約をなさるでしょう。ありがとうございます！

もしもあなたが、落語に詳しくなかったけど、この『かっちえて』に通うようになって落語ライブの楽しさを知り、この会に出演する噺家さんはテレビに出てない関係なく、誰が来ても上手いし面白いし大笑いできるし、ときには目頭が熱くなるほど感動できるとわかっている方ならば、ここから先は読まなくても、ハミングしながら受付に行って、ウキウキと予約をなさるでしょう。ありがとうございます！

もしもあなたが、この会に来たのは今回が初めてで、いままで落語には興味がなかったし、噺家さんなんてテレビに出ている人しか知らないし、この号外チラシの名前をみても、「おいは笑点に出とる人しか知らんもんね」とつぶやくような方ならば、ここから先を読んでみてください。

読めばきっと、「そうや、おいが知らんやっただけで、そがんおもしろか噺家さんたちの佐世保に来らすとや。そいぎんたおいも予約してみゅうかね」と思いますから。

桃月庵白酒：“とうげつあんはくしゅ”と読みます。落語家の最高位である真打は、東京だけでも300人以上いますが、落語ファンの中で「いま誰が一番おもしろいか」という話題になったときに、必ず名前があがるひとりであり、真打300人のなかでもトップクラスの実力である。聞き取りやすい明朗ないい声の持ち主であり、その愛嬌のある風貌と正統派の語り口で、現代的センスあふれるギャグを織り交ぜながらの古典落語は絶品。人情噺も笑いに変える独特の表現力は高く評価されていて、その存在感は増すばかりで、いまや落語界を支える大きな柱の一本となっている。国立演芸場花形演芸大賞、芸術選文部科学大臣新人賞など受賞多数。

三遊亭兼好：白酒師匠同様に、「いま誰が一番おもしろいか」といった話題のときに、必ず名前があがるひとり。その高座はとにかく明るく華やかであり、観客の想像力を絶妙にくすぐる高い表現力で笑わせながらも、いつの間にか古典の世界へ引き込んでくれる。特に、本人曰く「多くの人になんとなくモヤモヤ感じていることを言語化している」マクラ（噺の導入部）の面白さは抜群であり、いつでもどこでも観客の圧倒的な共感を得ている。最初のマクラから最後のオチまで、サービス精神にあふれていて、落語通でも初心者でも虜にしてしまう噺家であり、国立演芸場花形演芸会金賞や彩の国落語大賞を受賞するなど、白酒師匠同様、人気実力ともにトップクラスの噺家ある。

どうです？次回も、次回も！『佐世保かっちえて落語会』は、こういうトップクラスの両師匠が、がっぷり四つに組んで、たっぴりと二席ずつ、じっくりと聴かせてくれるんですよ。しかも増税なし値上げなしの、この料金で！さらにもうひとり、地元の広田小・花高小・早岐中・南高出身の若き噺家、三遊亭らっ好さんも参加します。

三遊亭らっ好：1991年生まれの33歳。佐世保出身で長崎大へ進学するも4年の時に見事に中退し、落語の世界へ飛び込む。精進を重ねて、現在の位は真打の手前の“二ツ目”で、長崎・佐世保初の真打を目指している地元期待の噺家である。

さらにさらに、前座はいつものように“地産地笑”の創作落語で、わが故郷の落語っ子たちが一生懸命に務めさせていただきます。と、ここまで読んだら、いままで落語なんかに興味なかったし、テレビの人しか知らなかったあなたも、予約したくなっちゃったでしょ？……ありがとうございます！てなことで、笑う門には福来たる。笑顔の人には幸来る。次回も満席になるかどうか、ハラハラドキドキしながら、ご来場をお待ちいたしております！（文責・海老原靖芳）

2024年8月25日(日)

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

指定席 大人：2,500円・小中高生：1,000円

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時